

倉橋先生の思い出

岩 崎 香

倉橋先生は日本の幼児教育にとこしえに消えることのない
ともしびをかかづ、私共に行くべき道を示して下さいまし
た。幼児教育にたずさわる私共の心のささえていらつしまし
ました。たとえ直接お目にかかる機会は少くても「幼児教育
やキンダーブック」を手にします度毎に早速御名前を見出す
ことを楽しみにしておりましたのに今はもうそのお言葉に接
することもなく、どんなにおまち申し上げても御目にか
かることが永久になくなってしまいました。先生御生前の思
い出の二つ三つを申しあげまして心からの御冥福をお祈り致
したいと存じます。

まだお茶の水に校舎がありました頃、保育科へ入れて頂い
て間もなくフレーベルの御誕生の日にあたる四月二十一日そ

の御生涯について倉橋先生から御話をうかがいました。花の
香りもただよってくる様な春の夕、紅に黄に紫に色どられた
夕焼けの下で偉大な教育者についてあこがれと高い理想をも
ってお話になったその時のお姿がフレーベルその人の面影と
重り合って先生への最初の思い出ともなり又強い感動にみち
た印象ともなつて今ここに思い出されて参ります。

短い期間だけしかお講義をうかがう事ができませんでした
けれどある時は美しい詩の様な又ある時は流れる散文の様な
お講義であつた事を折にふれて思い出します。

ある朝のお講義の時に「皆さんは学校へ行くのだからと大
切に本をもつていらつしやるでしようけれど本はたまには忘
れても幼児の為にお掃除の仕たくはいつとも用意していらつし
やうて下さい」と云う意味の事をおっしゃつた事がありまし
た。又幼児の描いた絵のとりあげ方についてのお話の中に軽
々しく絵の批評したりお上手ですと幼児の前でほめるなど
と云う事はよくない事ですとおっしゃいました事をおぼえ
ております。

いづぞや愛育会の児童相談所のお仕事を手伝わせていた
く事で母校へ御相談にうかがつた事がございました。何時も
にこにこしたお顔でいらつしやいましたが、その日は又格別
御気嫌がおよろしかった様にお見受け致しました。私が用件
を申しあげますと早速添書を愛育会の理事のどなたかに宛て

てお書き下さいました。そしてその時「私も静岡県人ですし貴女も静岡県で同県人ですね。同県人のよしみで紹介の労をとつてあげましょうね」とおっしゃって下さいました。御手数をおかけ致しました御蔭様でそれからしばらく愛育会で勉強させていただく事ができました。

何かの時に「入学試験の面接の時には一人で日本中の幼稚園をしょって立つ様な勢いでしたがこの頃はどんなですか」とおっしゃっておわらいになった事がありました。が今ではそんな小さい思い出も大変なつかしいものとなってしまいました。

先生の御足のあとをたどりますにはあまりにも力のない欠点の多い私でございますが、少しでも御理想にそつて幼児の幸せのためによいしもべとなる精進を、今日も明日も続けさせていたたく事だけが、御恩にむくいる唯一つの残された道となつてしまいました。何時までもいつまでも先生がいて下さる様に思つて甘えておりましたが、倉橋先生はもう私共のグループの中にはふたたびおいでいたたく事がなくなつてしまいました。

x

x

x

x

倉橋先生のこと

牛 島 義 友

倉橋先生は詩情豊かな教育者であられたが、又科学的研究の最もよい理解者であられた。幼児教育界がとかく経験主義に立ち、科学的研究から取残されていることを最も苦にされたのは先生であつた。

東京女子高等師範学校では共通科目である教育学を受持たれていたもので、他の化学や国語のように専攻の学生が居らずしたが、教育や心理学の研究の地盤がないことを遺憾に思わされていた。

したがって大学への昇格の機会に児童学科の創設の構想を立てられた。女子大学において心理学が独自の研究を發展するには児童学が最もふさわしいと考えられたからである。

ところが、従来このような講座が無かつたために、新たに